

報道関係各位

石油資源開発株式会社

Tel: 03-6268-7110 (広報代表)

<https://www.japex.co.jp/contact/>

英領北海シーガル海上鉦区で原油・天然ガスの生産を開始

石油資源開発株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：藤田 昌宏、以下「当社」）は、当社在外連結子会社である JAPEX UK E&P LIMITED（以下「JUK」）を通じて権益を保有する英領北海のシーガル海上鉦区（以下「シーガル鉦区」）にて、本年11月に原油および天然ガスの生産を開始しましたので、お知らせいたします。

シーガル鉦区は、イギリス・スコットランド北東部アバディーンの東方沖およそ 230km の英領北海中央部に位置する油ガス田で、JUK は 2014 年 3 月に鉦区権益の 15% を取得し探鉦段階から参画しています。2019 年 3 月に、鉦区権益を保有する英 BP 社（以下「BP」）、英 Neptune Energy 社（以下「Neptune」）、ならびに JUK の 3 社で、原油・天然ガス開発に係る最終投資決定を実施し、坑井の掘削や生産供給設備に係る作業を進めてきました。

この度生産を開始し、段階的に生産量を引き上げ、並行して開発作業を継続していく予定です。開発予定の全 4 坑井を合わせた生産能力は、原油換算日量 5 万バレルを見込んでいます。

シーガル鉦区で生産する原油および天然ガスは、BP の既存海上施設である ETAP（Eastern Trough Area Project）の中央処理施設（CPF：Central Processing Facility）で処理したうえで、原油はフォーティーズパイプラインシステム経由でスコットランド東部グランジマウスのキネールターミナルへ、天然ガスはイングランド北部ティーズサイドの CATS（Central Area Transmission System）処理ターミナルへそれぞれ輸送し、販売されます。生産および輸送における既存設備の活用は、シーガル鉦区の経済性向上や作業効率化、また周辺環境への負荷の低減に貢献しています。

シーガル鉦区の概要については、別紙を参照ください。

当社は、時代に合わせたエネルギーを安定供給する「総合エネルギー企業」として、今後の石油・天然ガス需要に応えるための開発投資を継続すると同時に、2050年カーボンニュートラル社会実現に必要なとされる CCS などの技術開発へも積極的に取り組んでまいります。

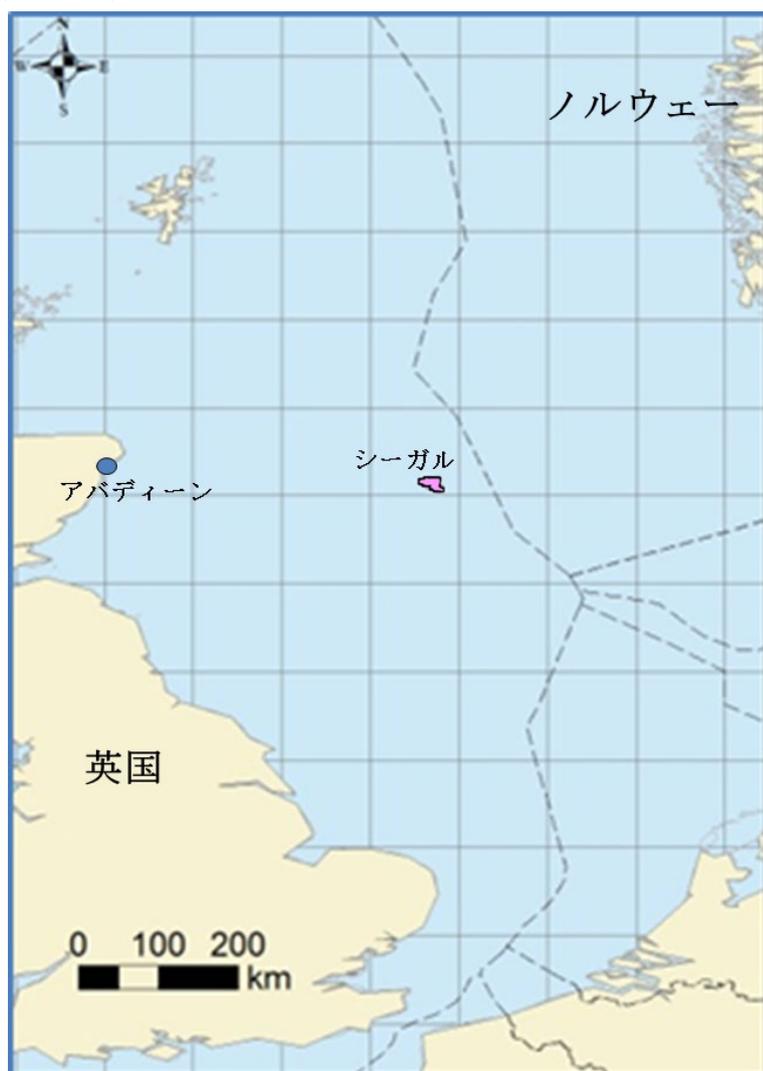
以上

<別紙>英領北海シーガル海上鉦区概要

別紙 英領北海シーガル海上鉦区概要

| | | |
|--------|--|-----|
| 鉦区名称 | 英領北海 P1622 鉦区 22/29C (通称: シーガル (Seagull) 鉦区) | |
| 鉦区所在地 | イギリス・スコットランド北東部アバディーン東方沖約 230km | |
| オペレーター | BP Exploration Operating Company Ltd. | |
| 権益比率 | BP Exploration Operating Company Ltd. | 50% |
| | Neptune E&P UK Ltd. | 35% |
| | JAPEX UK E&P LIMITED | 15% |

(鉦区地図)



(現地海上生産設備 ETAP)



(シーガルプロジェクト紹介映像：英語キャプションのみ)

<https://www.bp.com/en/global/corporate/news-and-insights/reimagining-energy/seagull-starts-up.html>

###